

行政機能 ／警察・ 消防	住宅・ 都市	保健医療 ・福祉	エネル ギー	金融	情報 通信	産業 構造	交通・ 物流	農林 水産	国土 保全	環境	土地 利用
--------------------	-----------	-------------	-----------	----	----------	----------	-----------	----------	----------	----	----------

石油製品の供給事業者に対する支援

No.17	経済産業省	補助金等	(開始年度)平成22年度
-------	-------	------	--------------

支援の名称	<h3>災害対応型 SS の整備及び能力強化 (災害時に備えた地域におけるエネルギー供給拠点の 整備事業費)</h3>
制度の 趣旨・背景	<p>災害時の石油製品の安定供給体制を確保するため、自家発電機を備えた「住民拠点SS(サービスステーション)」の整備や、災害対応能力を強化するための研修や訓練による人材育成、地下タンクの入換・大型化に係る費用を支援します。</p>
制度の 内容	<p>災害時の石油製品の安定供給体制を構築するため、以下の事業を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 自家発電機を備えた「住民拠点SS」の整備 災害時の燃料供給拠点となる「住民拠点SS」に対し、自家発電機を整備します。 補助率：10/10 地下タンクの入換・大型化 石油製品の保有在庫量を増加するための地下タンクの入替・大型化を支援します。 補助率： 企業規模が中小企業等、給油所所在地が過疎地の場合：3/4、 // 、給油所所在地が過疎地以外の場合：2/3 企業規模が非中小企業の場合：補助率：1/4 企業規模が市町村、給油所所在地が過疎地の場合：10/10 緊急時石油製品供給安定化対策事業 SSの災害対応能力の強化に向けた研修や訓練等の取組を支援します。 補助率：定額
対象と なる方	<p>地方公共団体のほか、揮発油販売事業者といった上記の取組を行う民間事業者等</p>
問い合わせ 先など	<p>経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部 石油流通課 TEL：03-3501-1320</p> <p>■関連 URL ・一般社団法人全国石油協会 HP http://www.sekiyu.or.jp/</p>

災害時に備えた地域におけるエネルギー供給拠点の整備事業費 平成29年度予算額 24.5億円 (20.2億円)

事業の内容

事業目的・概要

- 災害時の石油製品の安定供給体制を構築するため、以下の事業を実施します。

(1) 自家発電機を備えた「住民拠点SS」(※1)の整備

平成28年4月の熊本地震において、災害時における燃料供給拠点としてのガソリンスタンド(SS)の役割が再認識されました。このため、こうしたSSに、自家発電機を整備し、SSの災害時対応能力を強化します。

(2) 「住民拠点SS」及び緊急車両用「中核SS」の供給力強化に係る設備導入支援

「住民拠点SS」及び「中核SS」(※2)が保有在庫量を増加するための地下タンクの入替・大型化を支援します。

(3) 緊急時の石油製品供給に係る研修・訓練事業

SSの災害対応能力強化のための研修・訓練を支援します。

- ※1 自家発電機を備え、災害時にも地域住民の燃料供給拠点となるSS
- ※2 災害時に緊急車両等に優先給油を行うSS

成果目標

- 本事業を通じ、災害時の燃料供給拠点となる「住民拠点SS」を平成31年度頃までに8,000箇所整備するなど、石油製品の供給体制の構築を通じた災害対応力の向上を目指します。

条件 (対象者、対象行為、補助率等)



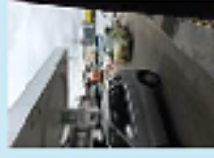
事業イメージ

(1) 自家発電機を備えた「住民拠点SS」の整備

災害対応設備の導入



・自家発電機の導入



・熊本地震時のSS混雑の様子

(2) 住民拠点SS、緊急車両用中核SSの供給力強化に係る設備導入支援

地下タンクの入替・大型化



・旧製一重殻タンクの撤去及び大型二重殻タンクの設置

(3) 緊急時の石油製品供給に係る研修・訓練事業

災害対応能力強化のための研修・訓練



災害時の石油製品の安定供給体制を構築